

大倉山保育園における自己点検・自己評価（職員用 1/2）

* 2025年度の保育全般を各職員が総合的に評価し、その平均値を掲載しました。

- | | |
|---|------------------------------|
| 5 | : たいへん良い |
| 4 | : 良い |
| 3 | : 大体良いが更に良くできる(もう少し学べば深められる) |
| 2 | : 検討を要する |
| 1 | : 改善を要する |

I. 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価
① 目標 保育	(1) 目標は、各施設や、地域の特色を生かしているか。	4.3
	(2) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	4.1
② 保育	(1) 保育所保育指針をふまえ、指導計画を乳幼児の実態に即して作成しているか。	4.3
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	4.2
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。	4.3
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	4.3
③ 行事	(1) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	4.3
	(2) 乳幼児の自主的・実践的な活動にしているか。	4.2
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	4.1
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	4.3
④ 食 育	(1) 目標は、全職員で検討され共有されているか。	4
	(2) 食に興味を持てるよう、年齢別の食育活動を行っているか。	4.5

II. 開かれた保育所づくり

項目	内容	評価
① 施設 間 連 携 交 流	(1) 他施設等と交流をしているか。	4.1
	(2) 参観や保育に参加する機会があるか。	4.4
	(3) 必要に応じて他施設と情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	4.2
② 地 域 ・ 家 庭	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日・見学日・保育参加日等を設定しているか。	4.1
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	4.2
③ 子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。	4.7
	(2) 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	4.3
	(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	4.5
④ 情 報 の 発 信	(1) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	4.7
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や関係施設等に周知しているか。	4.4

Ⅲ. 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

	内容	評価
① 体制	(1) 職務内容が明確で協働できる体制になっているか。	4.2
	(2) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	4.1
② 運営	(1) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	4
	(2) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	3.9
	(3) 「ヒヤリハット」を記録・共有し、以後の保育に役立てているか。	4.3
③ 年齢別・ クラス 運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や乳幼児の実態に基づいて設定しているか。	4.3
	(2) 年齢別・クラス目標に即して短期・長期のねらいを適切に設定しているか。	4.3
	(3) 同年齢および異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	4.2
	(4) 職員の連携は十分に取れているか。	4.1
	(5) 評価(資料・諸記録)はしているか。	4.3
④ 保健・ 安全 指導	(1) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	4.5
	(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のために、家庭への啓発を行っているか。	4.3
	(3) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	4.3
	(4) 基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助をしているか。	4.5
⑤ 研修	(1) 研修の計画・運営は適切か。	4.3
	(2) 施設内・施設外研修に積極的な姿勢で参加し、専門知識や技能を高め、日々の保育や業務に反映させているか。	4.2
⑥ 情報	(1) 守秘義務を守り、乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	4.5
	(2) 子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で報告・連絡・相談をし、情報を共有しているか。	4.4
⑦ 施設・ 設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	4.2
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	4.2
	(3) 不審者に対応する配慮を行っているか。	4.2
⑧ 出納・ 経理	(1) 資材の有効利用や経費の節減に努めているか。	3.9

大倉山保育園における自己点検・自己評価（管理職用 1/2）

* 2025年度の保育全般を管理職員が総合的に評価し、その平均値を掲載しました。

5	: たいへん良い
4	: 良い
3	: 大体良いが更に良くできる(もう少し学べば深められる)
2	: 検討を要する
1	: 改善を要する

I. 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価
① 保育目標	(1) 目標は、どのように特色を生かしているか説明できる。	3.6
	(2) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図れるようにしているか。	3.2
② 保育	(1) 保育所保育指針をふまえ、指導計画を乳幼児の実態に即して作成しているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしているか。	4
	(2) 日々の保育に目を配り、必要に応じて適切な助言や指導、声掛けをしているか。	3.8
	(3) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	3.8
③ 行事	(1) 計画・実施・評価・改善の体制に自ら関わり、実践しているか。	3.8
	(2) 乳幼児の自主的・実践的な活動にしているか。	3.2
	(3) 保護者の願いや意見を取り入れられるよう、日常の中で保護者とのコミュニケーションをとっているか。	4.2
④ 食育	(1) 目標は、全職員で検討し、かつ共有できるようにしているか。	3.6
	(2) 年齢別の食育活動が行われるように助言をしているか。	3.4

II. 開かれた保育所づくり

項目	内容	評価
① 施設間連携・交流	(1) 他施設等と交流をしているか。	3.8
	(2) 参観や保育に参加する機会を設け、周知しているか。	4.4
	(3) 必要に応じて他施設と情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	4
② 地域・家庭	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日・見学日等を設定しているか。	4
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	3.8
③ 子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。	4.8
	(2) 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	4
	(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	4.2
④ 情報の発信	(1) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	4.6
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や関係施設等に周知しているか。	4.4
⑤ 外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映させているか。	4.2
	(2) 地域や保護者意見を施設運営に反映しているか。	4.2

大倉山保育園（管理職用 2/2）

Ⅲ. 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

	内容	評価
① 体制	(1)職務内容が明確で協働できる体制になっているか。	3.4
	(2)係りや仕事の分担・割り当ては適切かどうかを見直しているか。	4
② 運営	(1)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わられるような環境作りをしているか。	3.2
	(2)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	3.6
	(3)「ヒヤリハット」を記録・共有するようにし、以後の保育に役立てられるようにしているか。	4
ク③ ラ年 ス齡 運別 営・	(1)年齢別・クラス目標、およびねらいは、保育目標や乳幼児の実態に基づいて設定しているかを確認し、必要に応じ適切に助言、指導をしているか。	3.4
	(2)職員の連携は十分に取れているか目を配り、必要に応じて助言等を行っているか。	3.6
	(3)評価(資料・諸記録)等に目を通し、必要に応じ適切に助言、指導および改善を行っているか。	3.6
④ 保 健 ・ 安 全 指 導	(1)避難訓練・交通安全指導の計画を作成し、それに基づいて適切に実施しているか。	4
	(2)乳幼児の健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のために、家庭・地域社会・関係機関等と適切に連携を図っているか。	4
	(3)基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助をしているか。	4.2
⑤ 研 修	(1)研修の計画・運営は適切か。	3.8
	(2)自身も含め、職員全員が施設内・施設外研修に参加できる機会を作り、職員の資質向上に努め、日々の保育や業務に反映できるようにしているか。	4
⑥ 情 報	(1)守秘義務を守り、乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	4
	(2)子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で情報を共有できるようにし、自身も状況の把握に努めているか。	4.2
	(3)公文書收受、発送、処理は適切に行っているか、また各表簿は適切な方法で作成・処理しているか。	4
⑦ 設 施 備 設 ・	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしているか。	3.8
	(2)不審者に対応する配慮を行っているか。	3.2
⑧出納・経理	(1)資材の有効利用や経費の節減に努めるよう心がけ、職員が意識できるようにしているか。	3.8

【大倉山保育園 総評】

大倉山保育園は、みなさまに必要とされる施設であるよう、地域資源としてできることや求められていること、果たすべき役割等について模索しながら運営を継続してきました。今年度4月からは、横浜市の地域子育て支援事業、子育てひろば「ていんくる」を始動しています。次第に利用者が増え、今では常時4～5組、多い時には7～8組の親子が遊びに来てくれています。この一年で、近隣の子育て世帯に『安心して過ごせる場所』として認知され、保護者も自然と繋がり合える場所になっているのは本当に嬉しい限りです。

医療的ケア児サポート保育園としても引き続き、保護者の見学や相談、他園や自治体職員の方々の見学・意見交換、情報共有等について、ご依頼のあった全ての案件に対応してきました。また、横浜市主催の研修で事例発表を行い、実践してきたことを振り返る機会もいただきました。発信したことが、医療的ケア児受け入れへの理解に繋がり、入所が増えていききっかけになれば幸いです。

新たな事業にも取り組むことができるのは、前例に捉われず、できない、やれないではなくどうしたらできるか、どこまでならできるかを考えられる職員がいるからです。保育園のビジョンとしているインクルーシブ保育の実践についても、職員が定着していることで、徐々に積み上げられていると感じますが、これは保育園側だけで進められることではありません。子どもが自ら育つ力、育ち合う力、その柔軟性には大いに助けられ、刺激を受けています。保護者のみなさまや地域の方々の温かい見守りやお声掛けが、安心感となり園全体の大きな支えとなっています。またボランティアとして来園する卒園児や保護者の力にも助けられています。各連携機関も含め、多くの『人』と繋がることで運営ができていることに感謝し、園に関わる全てのみなさまにお礼申し上げます。

今年度の自己評価にも日々の取り組みが反映され、ほとんどの項目で数値が上がりました。これは、現場で子どもたちに関わる職員一人ひとりが保育の質向上に寄与しているからこそその結果だと受け止めています。一年を通し、全職員が『不適切保育防止研修』『保育士による児童に対する性暴力防の防止研修』の動画視聴を業務の中で行い、今、必要とされる保育の視点や意識の共有にも取り組みました。今後も、制度や情報の更新を行いながらより良い保育の提供に努めて参ります。

職員数が増え、情報の共有や扱いについては課題を感じているところです。職員同士がこれまで以上に自分の思いを忌憚なく言葉で伝え合い、受け止め合うことで改善される面もあるため、管理職側も各職員に働きかけながら園全体で取り組んでいきたいと思えます。

次年度も多くの人と繋がりながら、地域資源として役割を果たしていくために、みなさまのお力添えをお願いいたします。